

第1号議案

平成30年度事業報告及び収支決算について

(平成30年6月1日～令和元年5月31日)

I 平成30年度事業報告

1 森林・林業推進事業

(1) 要望活動

森林・林業施策の充実と予算の確保によって県土の保全と森林・林業の振興を図るため、他の林業関係団体等と連携して国会議員や林野庁等への施策提言、要望活動を行った。

1. 県への要望活動 (H30.7.24)

「森林環境譲与税(仮称)」の有効活用とともに、「新たな森林管理システム」の適切な運用に向け県内市町村が準備をすすめる中、速水会長、池田副会長、景山副会長、近藤理事、立石理事、皆田理事が知事、副知事、農林水産部長へ要望を行った。

- 1) 市町村への人材支援、業務支援など体制支援
- 2) 林業労働力の確保に向け、就業条件の改善や技術者育成等に必要な対策

2. 国への要望活動 (H30.10.25)

平成30年度補正予算及び平成31年度予算について速水会長が林野庁ほか関係先へ要望活動を行った。

- 1) 森林整備事業予算の確保について
実効性ある森林整備を果たすため事業の拡充、予算の増額
- 2) 林道事業の予算増額について
原木増産と木材利用を推進するための林道等路網整備に要する予算の増額
- 3) 治山事業予算の増額について
予測困難な自然災害が頻発する中、事前防災・減災対策を含めた予算の増額

3. 林業関係団体の県及び県議会への要望 (H30.9.20、10.2)

森林組合連合会、木材協会、林業種苗協同組合とともに、島根県知事、副知事、総務部長、農林水産部長と県議会(林業振興・木質バイオマス議員連盟)へ要望を行った。

- 1) 新たな森林管理システム、森林環境譲与税(仮称)の着実な推進について
- 2) 林業労働力の確保について
- 3) 循環型林業のさらなる推進について
 - (1) 島根県産木材の利用拡大について
 - (2) 造林事業、林道事業の予算拡大について
- 4) 治山事業予算の拡大について

4. 中国地区治山林道連絡協議会が国へ要望活動 (H30.10.25)

平成30年10月5日、松江市で開催した総会において採択した特別決議について速水会長(島根県森林協会会長)が林野庁等関係先へ要望を行った。

- 1) 現下の災害発生状況に鑑み、国民に安全と安心を与える治山対策の着実な推進
- 2) 特に山村地域の防災・減災に向けた予防的な治山対策の推進
- 3) 間伐等による森林整備と路網整備の推進

5. 林野事業促進意見交換会（31.2.1 東京都「都道府県会館」）

林業関係5団体（森林組合連合会、森林協会、木材協会、林業公社、水源林協議会）の主催（島根県同席）で開催した。林野庁から「平成30年度補正予算及び平成31年度当初予算」の説明を受けた後、新たな森林管理システムへの取り組みや林業経営者の育成・強化及び林業労働者の確保等について意見交換を行った。

(2) 普及啓発

森林の果たす役割や森林・林業施策について広く県民の理解を深めるため、各種のPR活動を行うとともに地域活動を支援した。

1. 機関誌「治山と林道」の発行

年2回（平成30年6月（118号）、12月（119号））発行し、会員を始め関係機関、関係者、県民に配布し森林協会の活動を広くPRした。

2. 山地災害防止PRポスター・パンフレットの配布

国、県、市町村で毎年取り組む「山地災害防止キャンペーン（5/20～6/30）」の周知と、防災意識の向上を図るため、市町村、森林組合他に大型ポスター及びパンフレットを配布した。

3. ホームページを利用した情報発信

協会からのお知らせ（ブログ）等により協会の活動を広く紹介した。

2 技術向上対策事業

(1) 研修会等

1. 会員の森林・林業についての知識、技術の向上を図るため、技術研修会の開催、林野庁等が開催する研修会等への参加費助成、林業関係図書等の配布を行った。また、治山・林道工事の施工技術の向上、木材利用の促進、林道の適切な維持管理の推進を図るため、各種工事コンクール等を開催した。

1) 各種研修会への参加費助成

会員の森林整備・森林土木技術等の向上を図るため、林野庁等が開催する技術研修会等への参加経費を助成した。

所 属	参加人数	助成金額（円）
森林組合	2	16,200
計	2	16,200

2) 技術関係図書等の配布

（一社）日本治山治水協会、日本林道協会等が発行する技術関連図書を配布した。

図書名	配布部数	金額（円）
治山林道必携（積算・施工編）	18	145,800
//（調査・測量・設計編）	//	97,200
森林土木木製構造物施工マニュアル	//	89,424
民有林森林整備事業の概要	19	30,780
治山事業のあらまし	//	30,780
計		393,984

※配布先～市町村

3) 林道及び林道専用道研修

県、市町村、林業事業体、コンサル職員等に対して開設・災害・点検等に係る研修及び意見交換を行った。

区分	実施日	場所	参加人数	備考
林業専用道	H30. 6.26	松江市	34	設計・積算・施工管理
	29	浜田市	38	//
	10.24	//	8	路線計画、測量
	H31. 4.16	松江市	47	設計（コンサル）
林道	H31. 2.22	松江市	22	災害、施設点検
	27	浜田市	33	//
治山・林道	H31. 4.15	松江市	79	災害

(2) 地域防災支援

県、市町村、島根県山地防災ヘルパー協議会、島根県森林土木技術協会と連携し、治山施設の点検、森林パトロール（山地災害危険箇所の状況把握）を行うとともに、地域の「防災学習会」等へ出向き、地域住民の防災意識の向上を図った。

年度	月	日	指導箇所	備考
30	5	28~30	奥出雲町	島根県森林土木技術協会
	6	4~5	飯南町	//
		7、13	雲南市	//
		8	松江市	//
		12、18、25~26	出雲市	島根県森林土木技術協会 島根県山地防災ヘルパー協議会(18日)
	7	2	出雲市	島根県森林土木技術協会
		12~13	安来市	//
	8	2~3	出雲市	島根県森林土木技術協会
	11	5	松江市	山地防災ヘルパー協議会

7月の西日本豪雨災害の災害復旧に当たって広島県森林協会から林道災害への支援要請があり、島根県森林土木技術協会が安芸高田市、三原市、尾道市などへ出向き、査定設計書の作成を行った。

3 表彰・コンクール

森林土木事業等の推進に功績のあった者に対し、協会長表彰を行うとともに、防災意識の向上を図るため、山地災害防止標語及び写真コンクール等を行った。

(1) 森林協会長表彰 (30.7.24 森林協会通常総会)

1. 森林土木事業功労者森林協会長表彰

所 属	氏 名
邑南町	三浦 康孝

2. 治山林道工事コンクール森林協会長表彰

区 分	受 賞 者			
治山工事	アサヒ工業(株)	(株)サンエイト	(株)今岡興産	置名土木(有)
	(株)ハナオカ 工務店	東西建設(有)	(株)日西テクノ プラン	
林道工事	(株)松和			
林道維持管理	雲南市長			

(2) 治山・林道全国コンクール表彰 (30.11.29 日本林道協会通常総会)

表 彰 部 門	受賞区分	受 賞 者
治山工事	(一社)日本治山治水協会長賞	置名土木(有)
林道工事	日本林道協会長賞	(株)松和
林道維持管理	林野庁長官賞	雲南市長

(3) 山地災害防止標語及び写真コンクール

県内から応募のあった標語 53 点、写真 3 点を主催者である(一社)日治山治水協会へ応募した。

※入賞作品は日本治山治水協会ホームページに掲載中

(4) 治山功労者等表彰

一般社団法人日本治山治水協会の創立 80 周年に当たる今年、治山功労者等の表彰が行われた。治山功労者は日本治山治水協会及び都道府県協会の業務を通じ、治山事業の発展向上に顕著な功績のあった者に対して行われ、本県からは速水雄一氏(雲南市長 島根県森林協会会長)が農林水産大臣賞、松田和久氏(前隠岐の島町長 前島根県森林協会副会長)が林野庁長官賞にそれぞれ選ばれた。また、治山事業の普及・啓発等に顕著な功績のあった者が治山功績者として表彰され、佐川俊二氏(元県職員、前島根県山地防災ヘルパー協議会会長)が林野庁長官賞に選ばれた。

※経歴等は「治山と林道」119号に掲載

4 斡旋・受託事業

(1) 資材等の斡旋

会員及び施工者に対し、森林整備事業及び治山・林道事業、保安林整備事業等の施工地に設置する堤銘板や標識等を斡旋した。

1. 資材

種別	件数(件)	数(基)	売上金額(円)
治山銘板	2	2	73,440
林道標識	4	10	92,880
施行地表示板	2	7	186,840
計	8	19	353,160

2. 図書

(一社)日本治山治水協会、日本林道協会等が発行する技術関連図書を斡旋した。

図書名	部数	金額(円)
30年版 治山林道必携(積算・施工編)	5	40,500
30年版 治山林道必携(調査・測量・設計編)	5	27,000
30年版 森林土木木製構造物施工マニュアル	3	14,904
林道必携(災害編)平成27年版	1	4,536
森林土木構造物標準設計(擁壁編)	1	5,400
林道災害復旧事業マニュアル平成21年版	1	4,968
平成31年版民有林治山事業及び保安林制度のあらまし	5	8,100
平成31年版民有林森林整備事業の概要	5	8,100
計	26	113,508

※斡旋先～森林土木技術協会会員

(2) 受託事業

1. しまね森林活動サポートセンター

県から業務運営を委託する「しまね森林活動サポートセンター」の円滑な運営に努め次の業務を行った。

1) 島根CO₂吸収・固定認証企業等の寄付による森林整備(寄附型)、企業等が自ら実施する森林整備(実践型)、団体等の事業提案と寄付による森林づくり(提案型)の円滑な事業推進とともにCO₂吸収認証を行った。

区分	企業等数	寄付額(千円)	事業種	面積(ha)	t-CO ₂ /年	備考
実践型	5		植栽、下刈	10	56	
寄附型	5	1,881	植栽、間伐外	17	115	
活動支援型						
提案型	1	48,901	植栽、下刈外	141	562	18市町村
計	11	50,782		168	733	

2) 島根森林技術ボランティア活動サポート制度の推進

森林・林業に関する学習、体験活動に支援を必要とする者（ユーザー）に対して森林インストラクター等の指導者（サポーター）を斡旋・派遣して活動を支援した。

区 分		活動参加者(名)	備 考
ユーザー	団体等	2,171	保育所、幼稚園、公民館外51団体
サポーター	個 人	27	
	団 体	120	NPOもりふれ倶楽部、樹冠ネットワーク、いわみの森こだま協議会
	企業等	37	島根県森林土木技術協会、島根県山地防災ヘルパー協議会
	計	184	

3) 島根県森林インストラクター スキルアップ研修

森林インストラクターの知識と技術の向上を図るため、研修会を開催した。

開 催 日	開催場所	参加者数	備考
5/19~20	松江市宍道町「ふるさと森林公園」	13	
1/26~27	江津市松川町「少年自然の家」	14	

4) みーもサマースクール

森林を活用した子供たちの野外体験活動を飯南町（飯南町ふるさとの森・県民の森）、松江市（ふるさと森林公園）、益田市（匹見峡）で開催した。

開催地	参加団体数					参加人数(名)		
	小学校	児童クラブ	保育園	その他	計	子供	大人	計
飯南町	1	12	8	1	22	512	72	584
松江市	7				7	82	29	111
益田市	1	1	10	1	13	255	47	302
計	9	13	18	2	42	849	148	997

5) 広報活動

ホームページ及びパンフレット「森林活動をサポートします」によって広く活動をPRした。

2. 森林・山村多面的機能発揮対策事業

12市町、4流域林業活性化センター外が会員である島根森林活用地域協議会事務局として交付金事務を行った。

3. 森林経営推進センター

県、市町村からの委託を受け、平成31年4月、森林経営推進センターを設置し、森林経営管理法に基づく市町村業務を支援した。職員は県からの技術職員派遣（3名）と嘱託職員（3名）の雇用による。

- ・業務内容：地域協議会での技術サポート、県連絡会議の開催や市町村職員の実務研修の企画・実施等、市町村の再委託業務支援、市町村の管理業務支援
- ・予 算：市町村との委託契約料 30,000千円
島根県との委託契約料 19,230千円